

令和3年度「学校評価」アンケート集計結果とその分析

令和4年2月

宮城県美田園高等学校

「学校評価」アンケートへのご協力ありがとうございました。

【集計結果及び分析の概要】

＜生徒・保護者①：回答率＞

○昨年度の施行を経て、今年度は「Myスタ」のアンケート機能を活用したインターネットによるアンケート回答に全面的に移行しました。回答率は生徒が全体の29%、保護者が全体の9%となりました。生徒は昨年度の25%からやや増えましたが、保護者については昨年度の19%から大きく落ち込みました。（→資料1参照）

⇒今年度は「Myスタ」「一斉配信メール」の更なる活用を進めるべく、さまざまな機会を捉えて生徒に案内をしてきました。今回の数字はその成果の一端が現れたものと理解しています。一方で、保護者の回答率が10ポイント低下した要因は、「Myスタ」用のアカウントとパスワードが生徒と保護者・保証人共用であることを周知する場面が不足していたためと考えられます。今回の反省を生かし、次年度は保護者・保証人の皆さまにも「Myスタ」の周知を図るとともに、実際に触れていただく機会を多く設定したいと思います。

＜生徒・保護者②：学習支援に係る肯定的回答が向上＞

○生徒による評価について、「3スクーリングとレポート作成」が9割、「2レポート添削・スクーリングと意欲・学力」が8割を超えました。（→資料2参照）

⇒休校期間等もあった昨年度と異なり、今年度は例年通りの教育活動を実施できたことに加え、レポート添削や学習支援室等における丁寧な個別指導が評価に結びついたと思われます。一方で、「学ぶ意欲を引き出し、学力が身につくようなレポート添削・スクーリングが行われている」について約15%の生徒・保護者が否定的評価をしていることには留意する必要があると考えています。次年度はレポート作成支援を更に進めるため、「Myスタ」コンテンツの一層の充実とスクーリングの改善工夫はもとより、スクーリングに参加した生徒との関わりを深めることで安心して学習に取り組める環境を整備していきたいと考えています。

＜生徒・保護者③：進路指導に課題＞

○「4進路指導」について、生徒保護者と教員との間に大きな評価の差が見られました。

⇒生徒保護者の肯定的評価が減少したことに対し、教職員の肯定的評価は増加しました。通信制の特性および感染拡大防止の観点から、進路指導は個別対応の割合が多くならざるを得ないため、生徒や保護者・保証人の皆さんには見えにくくなっていることが要因だと思われます。次年度について、出口指導はもとより、年度HRも活用した生徒のキャリア形成に資する指導の充実、進路相談をしやすい雰囲気の醸成を図りたいと考えています。

＜教職員：郵送による情報発信に課題＞

○「12郵送物は情報発信として十分な内容である」について、肯定的評価が減少しました。

⇒情報発信の方法が多様化し、生徒保護者にとって利用しやすい情報について考える場面が増えたことが要因だと思われます。発送物、ホームページ、Myスタ、一斉配信メールといった多様なメディアを効果的に使い分ける研究を次年度も継続していきたいと考えています。

【自由記述より】

○自由記述で生徒から6件、保護者から5件のご意見をいただきました。4割は要望・意見でした。

○その中で、「レポートや進路に関する相談がしにくい」という内容を複数いただきました。生徒が安心して質問や相談ができる関係性づくりを進めるとともに、メール等を活用した質問や相談についても周知することで今回ご指摘いただいた点の改善を図っていきたいと考えております。

分析結果を全職員で共有し、今年度の取組に改善を加え、さらに充実するよう取り組んでいきますので次年度についても、本校の教育活動へのご理解、ご協力をお願いします。